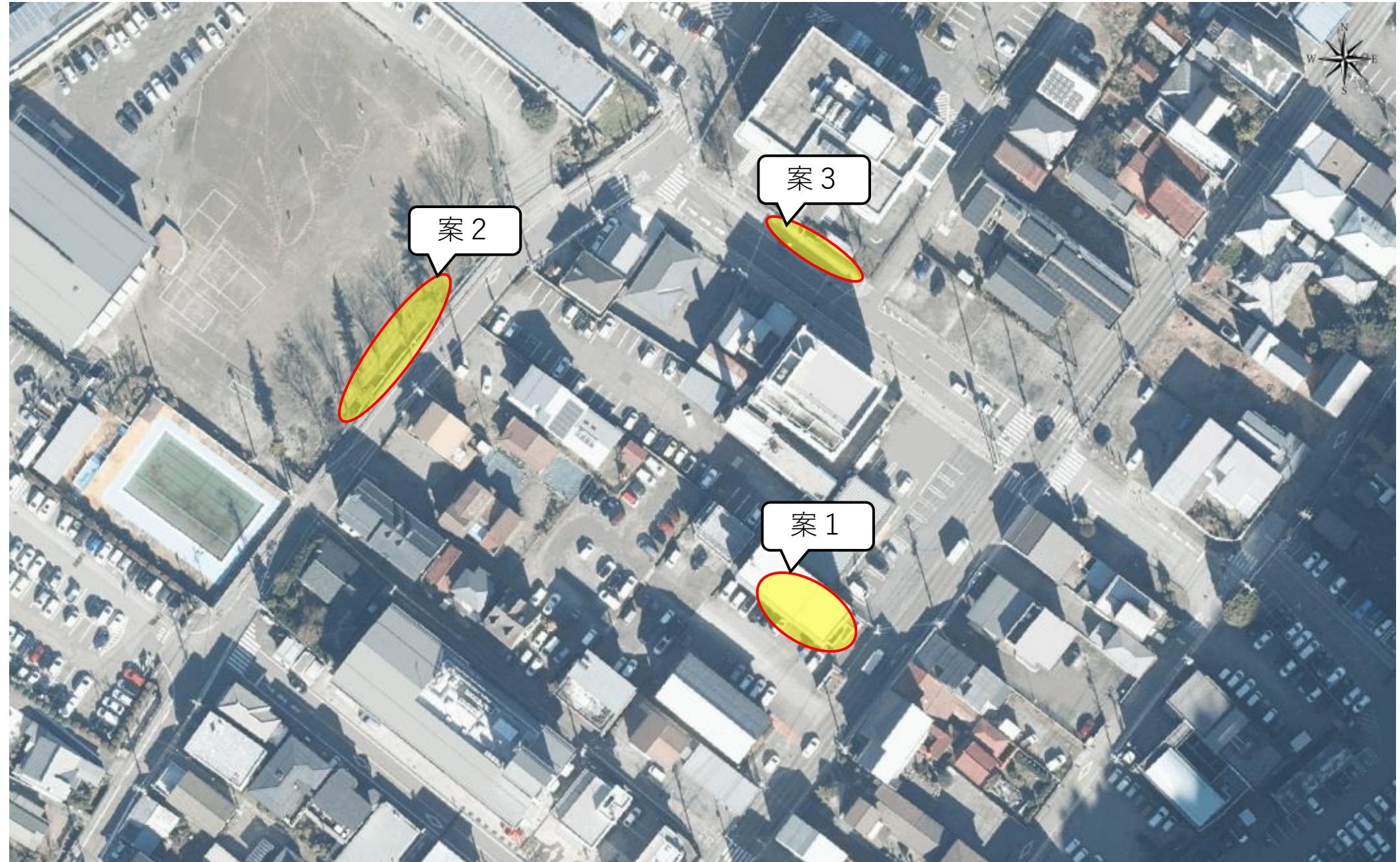


都留文科大学附属小学校と谷村第一小学校の統合に向けたスクールバス運行協議

検討事項① 谷村第一小学校側の乗降場所の確保

検討上の条件：当面の間、中型バス1台の運行

候補場所	メリット	デメリット	安全面	コスト面
案1 新町市有地	・市側で新町別館解体の予定あり、整地だけで済む。	・乗降場所から学校までの安全なルートの確保が難しい。	△	△
案2 校庭内（改修）	・学校敷地内で乗降できるので、安全が確保できる。	・グラウンドが狭くなる。 ・歩道及びフェンスの付替え、遊具の移設、複数の立木の伐採、造成等、整備費用が高額になる。	◎	×
案3 裁判所前市道	・道路幅が広く乗降ゾーンが確保できる。 ・スクールゾーンを設定できれば、より安全が確保できる。 ・歩道の小規模改良のみで、費用は抑えられる。	・乗降場所の設置により歩道が狭隘になり、歩行者の通行に影響する。	○	◎



検討事項② 附属小学校区内での乗降場所

検討上の条件：原則として、県道都留道志線上を運行する。

案：原則として現状の富士急バスのバス停を利用する。

検討事項③ 路線上の現谷一小学区児童（緑町・熊井戸）の利用の可否

検討上の条件：距離的にも 1 km 前後の範囲なので徒步通学としている。

旭小学校と禾生第一小学校の統合の際にも同じ条件の井倉地区の児童は従来どおり徒步通学となっている。

案：従来どおり徒步通学を継続する。

検討事項④ 附属小学区である熊井戸団地児童の取り扱い

検討上の条件：「熊井戸入口」バス停と「開地保育園前」バス停はほぼ同距離。

「熊井戸入口」バス停で乗降させる場合、徒步通学の熊井戸・緑町児童との切り分け

検討事項⑤ スクールバス乗降場所までの安全な通学路の確保

検討上の条件：乗降場所周辺で県道を横断する際の安全性の確保について

富士急バス 路線バス停配置図



【参考：路線バス（都留市駅～菅野上）バス停通過時間】

大手前	小野熊神社	開地保育園前	八幡橋	沢田橋	大津	文大附属小学校前	細野下	細野	御正体入口	源橋	菅野	菅野上	所要時間												
7:28	←	7:20	←	7:20	←	7:19	←	7:17	←	7:17	←	7:16	←	7:14	←	7:14	←	7:13	←	7:12	←	7:11	←	7:11	0:17
9:12	←	9:04	←	9:04	←	9:03	←	9:01	←	9:01	←	9:00	←	8:58	←	8:58	←	8:57	←	8:56	←	8:55	←	8:55	0:17
15:03	⇒	15:11	⇒	15:11	⇒	15:12	⇒	15:14	⇒	15:14	⇒	15:15	⇒	15:17	⇒	15:17	⇒	15:18	⇒	15:19	⇒	15:20	⇒	15:20	0:17
17:40	⇒	17:48	⇒	17:48	⇒	17:49	⇒	17:51	⇒	17:51	⇒	17:52	⇒	17:54	⇒	17:54	⇒	17:55	⇒	17:56	⇒	17:57	⇒	17:57	0:17